



8月上旬に1回目のピークを迎えるピーマンの収穫。10月下旬まで収穫が続く



こまめな管理で育てる悠さんのピーマン



ピーマン収穫の合間に行うトマトの定植

Profile

平成29年4月に就農し、祖父・祖母・父・母と5人で暮らす。ピーマンを露地で10a栽培。トマトと水耕栽培のリーフレタスは各2a栽培し、市内の産直や友人が営む県外の飲食店に出荷している。JA遠野地域野菜生産部会の一員でもある。モットーは「自ら楽しんでやる」と「みんなに美味しいと言ってもらえる野菜を作る」。



趣味・マイブーム 帽子の収集

高校生の頃から集め始め、現在も少しずつ買い足しています。デザインがさまざまある所が好きで、気分によって他人と被らないように選んで身に付けています。



ニット帽やキャップ、ハットなど約40枚持っています!

【コーナータイトルの由来】「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農追い人」と併せ、「農業に夢や希望を持って働く人」という意味を込めています。毎月、若手農業者や新規就農者を紹介します。

農追い人

GREEN SOLDIERS

むら 悠
かみ 悠
村 悠

遠野市

農業×最新技術 野菜栽培に「新風」もたらす

最新技術を農業に。多種多様な野菜の栽培が盛んな遠野市で、最新技術を駆使して農業を営む若手が村上悠さんだ。米や野菜、和牛繁殖など幅広く農業を営む農家で生まれ育った悠さん。東京都でアパレル関係の仕事をしていたが、「30歳を機に実家に戻ろう」と考えていた。そんな時、訪ねたファーマーズマーケットで若い生産者が多く、楽しそうに働く姿を目にした。悠さんは「自分にも出来るのではないかと思った。農業に対するイメージが変わり、やる気になった」と転機を振り返る。平成28年に帰郷し、千葉大学で3カ月間研修。そこで出会ったのが、トマトの養液栽培だ。最新技術を農業に活かしており、将来を考えた時に効率的に作業をしたいと、市内で初めてとなる導入を決めた。

就農3年目、JAや同市の重点品目であり補助金を活用して導入したピーマンを夏と秋に、ビニールハウスで栽培するトマトを冬と春の収穫を目指し、周年出荷を模索している。心掛けている事は、こまめに管理をする事。毎日生育を見ながら、適時の作業に気を付けている。そんな努力が功を成し、昨年度は市内でピーマンの「1本当たり収量」で3位の成績を収めた。一生懸命、年中作業に勤しむ悠さん。その原動力は、消費者の「おいしい」の一言だ。「泣きそうになるくらいうれしいし、やる気になる」と話し、続けて「自分で作った野菜を食べられる事も幸せ」と笑みをこぼす。今秋には収入の増加を目指し、需要が多いトマトの栽培規模拡大を予定している。悠さんは「ビニールハウスを活用し、トマトとピーマンを柱に周年出荷を確立したい」と目標を話す。悠さんの先駆的な挑戦は、農業の未来を切り拓いていくだろう。

ちょっといい話

むらかみ農園 Murakami Farm

村上悠さんが代表を務める「むらかみ農園」では、インスタグラムを通じて農業や農業生活の情報を発信しています。若手らしい情報発信をぜひ一度ご覧ください!



悠さんの違う一面も見られるかも!?



ネット販売をしようと、現在ホームページを制作中。悠さんが栽培するピーマンやトマト、リーフレタスのほか、両親が育てる旬の野菜も販売予定です。

- 住所 〒028-0663 遠野市附馬牛町下附馬牛17-83
- TEL 080-3543-0170
- E-mail pentel017@gmail.com
- ホームページ <http://murakaminouen.jp>

ぼらーの花巻 CONTENTS

- 02 農追い人 GREEN SOLDIERS
- 04 特集 暮らしの活動

- 08 ぼらーのNEWS ● 地域の話
- 10 あぐりネット
- 12 がんばる青年部 / 変わるJA
- 13 旬の産直大百科 / ぼらーの広場
- 14 Information ● 理事会だより / 監事会だより
- 16 私が先生あなたも先生 ● 編集後記